

---

# 資料

---





# 1 定着引継シート

○ 学習内容を児童生徒が着実に積み上げていくには、各学年における定着の状況が確実に引き継がれるとともに、小・中学校9年間を通して学習内容の定着の状況が整理され指導に生かされる仕組みが必要です。この「定着引継シート」は、そのような考え方により、小・中学校9年間を通して一人一人の児童生徒について定着実現状況を引き継いでいくための工夫の一つです。

○ このシートでは、各学年における主要な学習要素を取り出し、各学年末に担任等が定着状況を判断して記入します。未定着なものについては、次の学年において個別指導等で定着を図ります。その上で、学年末に定着状況を再度判断し記入するようにします。

このように一人一人の定着状況を引き継ぎ、未定着の内容については個別指導等を行いながら、中学校修了時点では、すべての項目に定着がチェックされていることを目指します。

各学年の主な学習内容や単元などをピックアップし、小学校6年間または小・中学校を通して記載しておきます。

小学校4年や中学校1年などの節目となる学年では、府学力診断テスト等により年度当初にも定着状況を確認しておくことで「ふりかえり学習」に活用できます。

内容	小1年	小2年	小3年	小4年		小5年	小6年	中1年		中2
				診断テスト	学年末			診断テスト	学年末	
数の合成分解	○									
整数の加減	○									
ものの位置の表し方	○									
量の大きさの比較		○								
かけ算の意味		○								
簡単な表やグラフ		○								
量の単位と測定(長さ・かさ)										
基本的な図形概念		○								
整数の除法										
未知の数量を□で表す										

各学年末に、担任等が各項目の定着の状況を確認し記載します。  
(例) 定着しているものを○、不十分・未定着なものを無記入、あるいはA・B・Cなどで記載します。

小学校1年末に未定着なものでも小学校2年末で定着が見られれば、小2年の欄に○等でチェックします。

小学校1年の学習内容が未定着だったものは、次学年以降でも指導し、学年末で定着状況を記入します。

## 2 つまづき把握シート

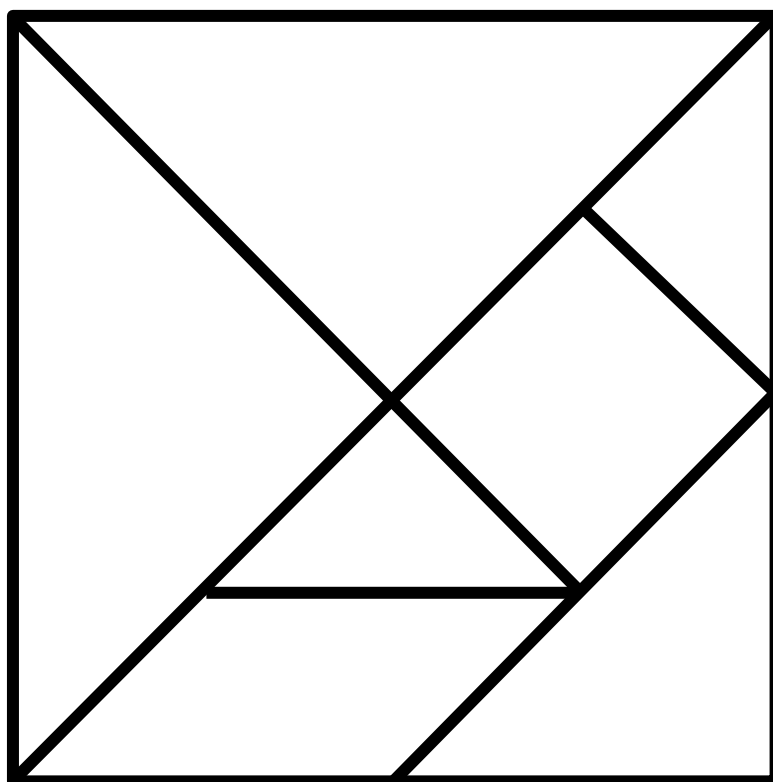
- これも前ページの「定着引継シート」と同様の考え方に基づいて工夫されたシートです。各学年での主要な学習要素を整理し、一覧にまとめています。定着していればチェックし、定着できていなければそのままにします。このシートが次の学年に送られることにより、単元指導や授業の構想、個別指導等の計画に生かすことができます。
- このシートは、児童生徒が補習・補充の学習に取り組む際にも活用できます。学年末の復習などでこのようなシートを配付し、「わかった」「できる」と児童生徒自身が判断して該当項目に色をぬるなど、定着状況を自ら視覚化します。児童生徒にとって「速くやる」「たくさんやる」ことが目標になりがちなプリント学習では特に効果的です。  
また、友達に教えてもらってわかるようになった場合は、色を変えて塗るなどの工夫により、教え合いも進めることができます。

### つまづき把握シート

学年	数と計算	量と測定	図形	数量関係
2年	くり上がり・くり下がりのたし算・ひき算ができる	mm、cm、mの長さのいみがわかり、はかることができる	まる、さんかく、しかくをくべつすることができる	たし算やひき算のしきをつくることができる
	たし算とひき算のひっ算ができる	mL、dL、Lのかさのいみがわかり、はかることができる	三角形・四角形のいみが理かいてできる	かけ算のしきをつくることができる
	九九ができる	時間(日、時、分)のいみがわかり、時計などから読みとることができる	正方形・長方形・直角三角形のいみが理かいてできる	かんたんなひょうやグラフがよみとれる
	かんたんな2い数と1い数のかけ算ができる	日、時、分のかんけいがわかる	はこの形をしたものについて知ることができる	かんたんなひょうやグラフをつくることができる
3年	大きい数のひっ算ができる	km、g、kgの意味がわかり、はかることができる	二等へん三角形・正三角形について理かいてできる	わり算の式をつくることができる
	(2・3い数)×(1・2い数)のひっ算ができる	長さや重さについて、およその見当をつけることができる	角について知ることができる	□を用いて式に表したり、□に数をあてはめることができる
	わり算の計算ができる(あまりのあるものをふくむ)	時間(秒)の意味がわかり、時計などから読み取るすることができる	円や球の意味が理かいてできる	表やグラフをつくることができる
	小数のたし算・ひき算ができる	生活の中でひつような時こくや時間をもとめることができる	円や球の中心・半けい・直けいが理かいてできる	ぼうグラフを読んだり書いたりすることができる

### 3 「かたちづくりをしよう」資料1～4

#### 資料1

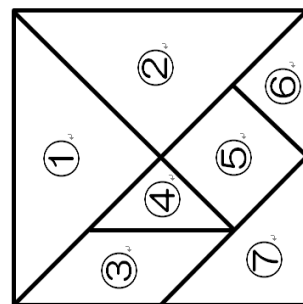


★切り取ってお使いください。

「かたちづくりをしよう」

氏名 ( )

- 1 右の図形を、必要に応じて拡大し実線にそって切りとる。
- 2 ダンボールやあつ紙などにしかりとはり付ける。
- 3 のりがかわいたら、線にそって切る。  
(はさみやカッターの扱いに注意する。)
- 4 できたかたちをつかって、かたちづくりをしよう。



かたちづくりをしよう①

氏名 ( )

ねらい

何番のかたちを使えば次のかたちになるでしょう

なんいど  
難易度★★☆☆☆

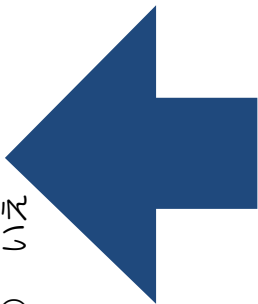
資料2

なんいど  
難易度★★☆☆☆

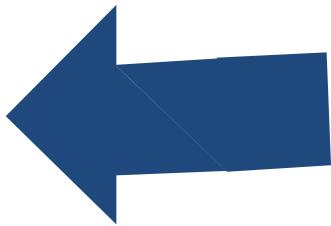
(1) ちょうちよ



(2) いえ



(1) やじるし



(2) とり



(3) さかな



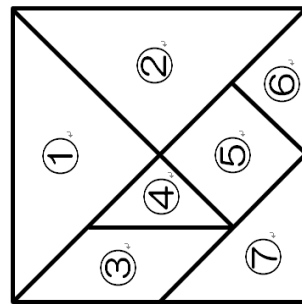
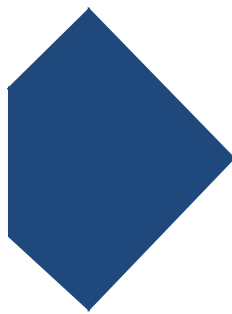
(4) はな



(3) えんぴつ



(4) ダイヤ



何番のかたちをつかったのか  
説明しよう。

かたちづくりをしよう①（解答例）

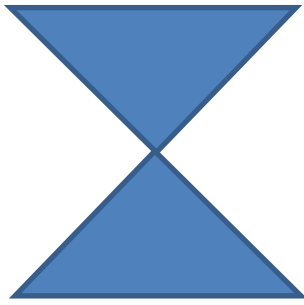
氏名（ ）

ねらい

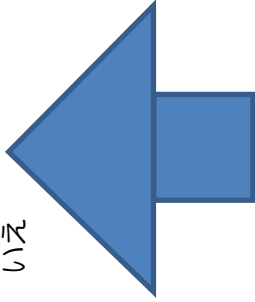
何番のかたちを使えば次のかたちになるでしょう

なんいど  
難易度★★☆☆

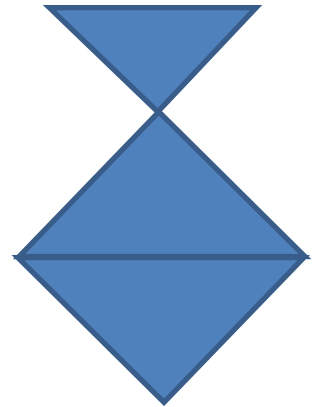
(1) ちょうちよ



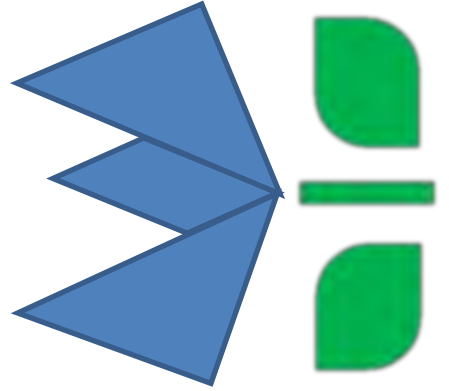
(2) いえ



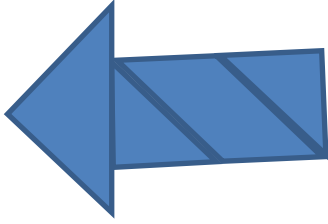
(3) さかな



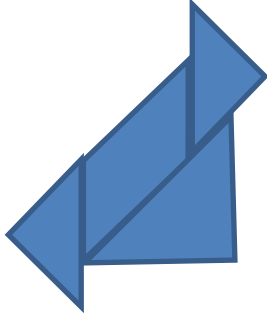
(4) はな



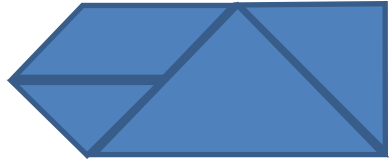
(1) やじるし



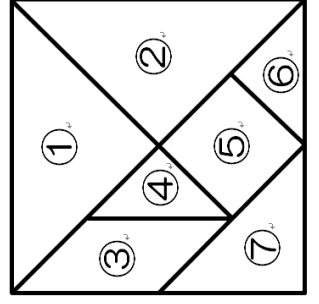
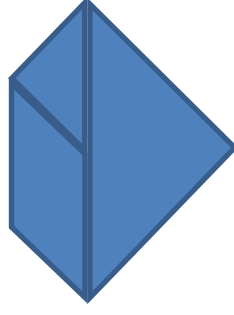
(2) とり



(3) えんぴつ



(4) ダイヤ



何番のかたちをつかったのか  
説明しよう。

かたちづくりをしよう②

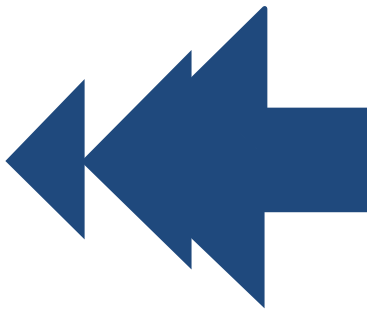
氏名 ( )

ねらい

何番のかたちを使えば次のかたちになるでしょう

難易度(なんいど)★★★★☆

(1) ツリー



(2) おおきなダイヤ



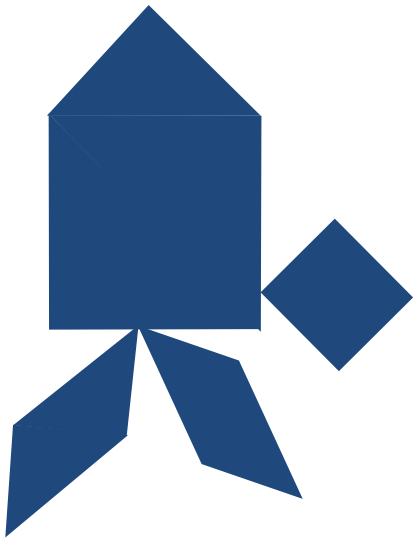
(3) かめ



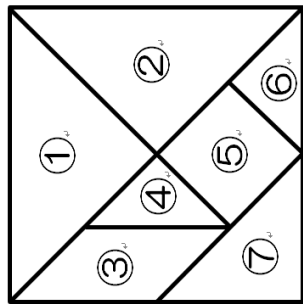
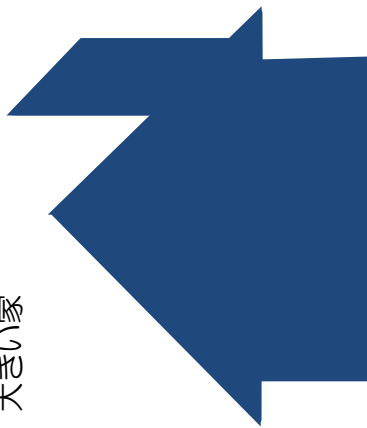
資料4

難易度(なんいど)★★★★★

(1) 大きい金魚



(2) 大きい家



何番のかたちをつかったのか説明しよう。



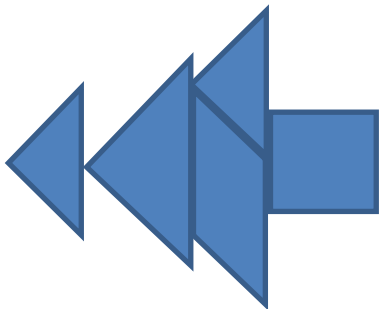
かたちづくりをしよう② (解答例)  
氏名 ( )

ねらい

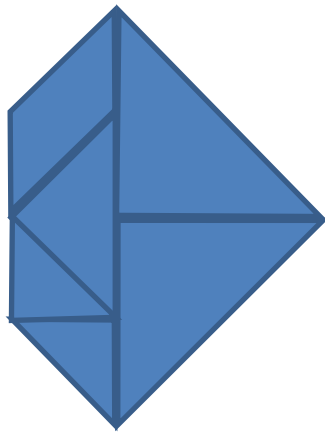
何番のかたちを使えば次のかたちになるでしょう

難易度(なんいど)★★★★☆

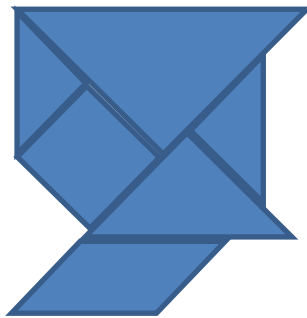
(1) ツリー



(2) おおきなダイヤ



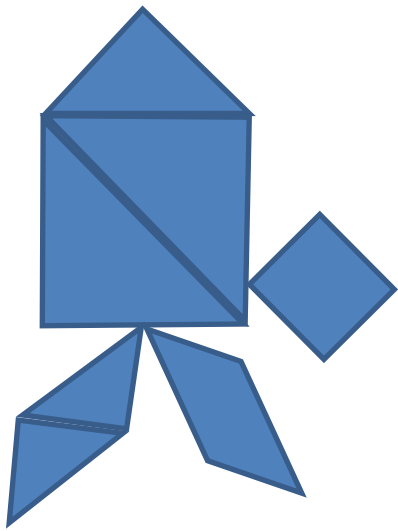
(3) かめ



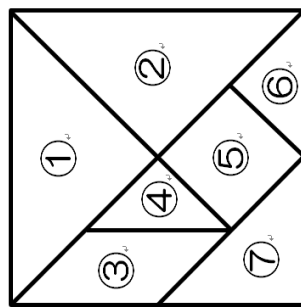
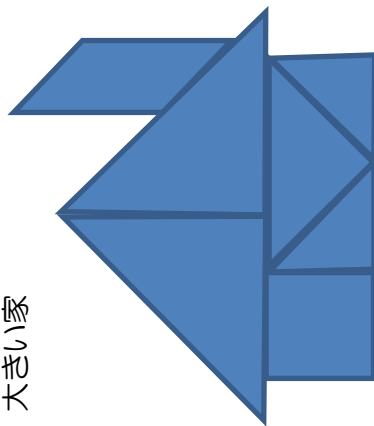
難易度(なんいど)★★★★★

資料5

(1) 大きい金魚



(2) 大きい家



何番のかたちをつかったのか  
説明しよう。

